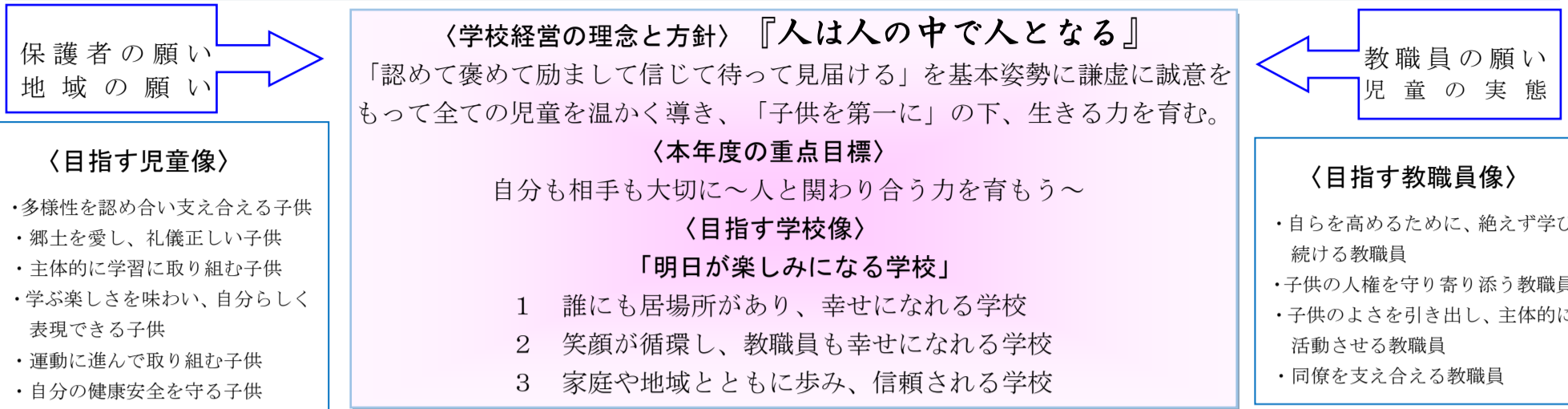


令和 7 年度 壬生町立壬生小学校グランドデザイン

教育目標 やさしく(思いやりのある子) かしこく(深く考える子) たくましく(ねばり強い子)



努力目標と主な具体策

思いやりのある子

～居場所づくり・絆づくり～

〈努力目標〉

- (1) 規律と温かい交流のある学級集団づくりや実践的・体験的な活動をとおして、一人一人の自己肯定感や自己有用感を育む。
- (2) 基本的な生活習慣、礼儀、公德や規範意識、情報モラルの醸成を図る。
- (3) 自他の生命や人権を尊重し、公共物を大切に使う態度を育てる。
- (4) 進んで人の役に立ち、自分の仕事や役割に誠実に取り組もうとする態度を育てる。

〈主な具体策〉

- ①多様性を認め合い、支え合える学級集団づくり
 - 職員同士の支え合いと、余裕をもって一人一人の児童の心に寄り添うことの徹底
 - Q-Uの効果的活用(学年チームでの実態把握・方策・実践・評価のPDCAサイクル)
 - 支援ニーズの共有といじめ未然防止の徹底
 - 教育相談や学業指導の充実
 - 意図的な遊びやグループワークの実践、学級づくりの時間での計画的な仲間づくり
 - 自主的な係や当番活動での協働と絆づくり
- ②学校行事等の工夫・改善
 - 目的の明確化、効果的な事前指導・振り返り、関連する活動の充実など、学年で共有・協働
 - 全校体制による絆を深める異年齢集団活動(清掃、ハッピースマイル集会、なかよしタイム、6年生を送る会等)
- ③基本的な生活習慣の育成
 - 生活のきまりや生活目標の適切で効果的な指導
 - あいさつ・返事・靴揃えの定着
 - ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネット週間の実施(家庭のルール・フィルタリング等、早寝・早起き・しっかり朝ご飯の啓発)
 - ネット・ゲーム依存予防のための支援の充実と情報モラル教育の確実な実施
- ④豊かな心を育む教育活動の充実
 - 教育活動全体で関連を図って進める道徳教育と道徳科の授業の工夫・改善
 - 心を育てる論語教育の推進

深く考える子

～授業で人づくり～

〈努力目標〉

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。
- (2) 主体的・対話的で深い学びを目指して、思考力・判断力・表現力を育成する。
- (3) 習得した知識・技能を活用して、自ら考えたり表現したり、自身の学習を調整し、粘り強く学ぶ態度を育む。

〈主な具体策〉※学校課題研究と関連

- ①基礎的・基本的な学習内容の習得
 - わかる喜び、できる嬉しさ、学び合う楽しさを実感できる授業：ねらいの提示、導入と振り返りの工夫、学習評価の充実など
 - ねらいに迫るための効果的なICT活用
 - ・GIGA端末の効果的・効率的活用
 - ・ICT、デジタル教科書・音声ペン付き教科書、AIドリルの活用
 - 個別最適な学びや発展課題の充実
 - アセスメント(MIM・MACS)と個に応じた補充学習の循環確立
 - ・全校体制によるベリータイムの充実
 - ・系統的・発展的な教材、指導方法の確立
 - 学習の約束の徹底(机上整理、姿勢、話し方・聞き方等学び合いの仕方)
- ②考える力や豊かな表現力の育成
 - 学習の目的、場面に応じて、意図的に取り入れる言語活動の充実
 - わかりやすく話し、書き、伝え合う力の育成と、考えを広め、深める学び方の習得
 - 読書の充実：必読図書選定、町図書館の利用推進、読書習慣(家読、感想)の定着化
 - 専科教員を生かした外国語教育の充実
- ③主体的な態度の育成
 - 調べ学習や協同学習による学び合いの充実
 - 主体的・対話的で深い学びを目指して、生きて働く力、学び続ける力の獲得
 - 家庭学習(宿題、自主学習、読書)の習慣化

ねばり強い子

～生きる基盤づくり～

〈努力目標〉

- (1) 体育や体力づくり、スポーツ活動を工夫・充実させ、体力、根気や運動の意欲を育てる。
- (2) 健康の保持増進やよりよい生活を主体的に築いていく実践力を育てる。
- (3) 自他の安全に気を付け、自ら判断して、命を守る行動ができる実践力を育てる。

〈主な具体策〉

- ①基礎的な体力の向上
 - 運動量豊富で充実感のある体育授業づくり
 - 新体力テストの分析や児童の特性・実態に応じた体力づくりの実施
 - 委員会活動や教職員による児童主体の外遊びやスポーツ活動の奨励
 - 学級づくりの時間やロングの昼休みの活用と工夫
 - ボルダリング設備有効活用の工夫
- ②健康教育の充実
 - 健康に関する生活習慣の定着・実践力育成(感染症や熱中症予防のための行動、生活リズムの習慣化、衛生習慣の励行)
 - 生命や人権、多様性を大切にする性に関する指導の充実、薬物乱用防止教室の実施
- ③食育指導の充実
 - 食に関する指導の充実：食べる量、栄養のバランス、食べ方、食事のマナー等の習慣づくり、知識・技能と実践力の育成
- ④安全指導の充実
 - 情報安全に関する授業の系統的・継続的な実践
 - 登下校時や生活の中の安全指導の徹底
 - 保護者や地域と連携した登下校見守りの充実
 - 交通安全の徹底(自転車ヘルメット着用)
 - 命を守る避難訓練の充実
 - ・災害・不審者等多様な危機への対応
 - ・予告無しの実践的な訓練

計画(P)・実践(D)・評価(C)・改善(A)のサイクルによる組織的なカリキュラムマネジメントと業務改善

特別支援教育の充実 一人一人の教育的ニーズを踏まえ、可能性と個性を伸ばす教育を推進する。
 ・個別の支援計画等の実践・評価のサイクル化 ・交流学习の充実 ・校内委員会・教育支援の充実
 ・授業のユニバーサルデザイン化 ・合理的配慮の充実 ・個別最適な学びの推進
 *SC・SSW、医療機関、関係機関等と連携を図った各種検査の実施・分析と支援体制の充実

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)
 学校と地域(保護者を含む)が連携・協働し、地域の教育資源を生かして、子供たちの教育を充実させる。学校が地域の発展に寄与する。

